

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課												
	作成責任者	中村 直樹												
	事業名	広域交通網整備促進事業												
	会計情報	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	会計	一般会計	事業コード	120333	決算付属資料	192	頁
	施策体系	施策コード	030303	施策名	道路のネットワークを充実させる									
	開始年度	平成18年度												
	終了予定年度	令和元年度												
	関連計画等	未来創造 福知山												
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	駅南地域の交通混雑を解消し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、道路の新設改良を行ない、市街地の交通体系の充実を図る。福知山停車場奥榎原線は、トラック等の走行が多く渋滞が頻繁に起こっている。広域交通網促進として、バイパス道路を整備することで市街地中心部とのアクセスをスムーズにし、住民交流や観光施設への利用の活性化を図り、さらには緊急避難路として位置付ける。幹線道路として、改良を進めていくことで、夜久野、上豊富方面と駅南周辺の交通網の整備を図ることができる。				
	対象者	道路利用者・地元住民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.9
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者、土地家屋調査士協会等				
	事業概要	広域交通網促進として、バイパス道路を整備することで市街地中心部とのアクセスをスムーズにし、住民交流や観光施設への利用の活性化を図り、さらには緊急避難路として位置付ける。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	福知山停車場奥榎原線	詳細設計業務(29繰30)	11,127			
	福知山停車場奥榎原線	道路新設改良工事(29繰30)	43,570			
	福知山停車場奥榎原線	電気設備等移転補償(29繰30)	1,174			
	西町市寺線	交差点改良工事	1,018			
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	120,000	113,000	8,000	10,000	90,100			
		②補正予算			0					
		③流充用額	△ 485	△ 6,236	0					
		④繰越額計	△ 68,790	909	60,899	6,982	0			
	前年度繰越			68,790	67,881	6,982				
		次年度繰越		△ 67,881	△ 6,982					
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	2,625	7,473	67,999	882	4,600			
		国支出金	0	0	0		0			
		府支出金	0	0	0		0			
		地方債	48,100	100,200	900	16,100	85,500			
		その他特財	0	0	0		0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	旧合併特例(29繰30)	種類	市債	実績金額	53,100	決算付属資料	48	頁
		特財名称	旧合併特例	種類	市債	実績金額	900	決算付属資料	48	頁
	人件費	0.65/0	0.65 / 0	0.11 / 0	0.11 / 0					
⑤概算人件費	5,200	5,200	880	880						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	55,925	112,873	69,779	17,862						
⑦執行額	50,725	105,833	56,889							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	98.3%	82.6%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		工事予定路線	路線	0 / 2	1 / 2	1 / 2	/ 2	2
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		工事完了路線	路線	0/2	1/2	1/2	/ 2	2
		単位あたりコスト		-	105,833.0	56,889.0		
		/	/	/	/			
	単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・駅南地域や国道429号及び国道9号沿線周辺における交通混雑を解消するため道路網の整備は必要。 ・市域が広い本市にとってバイパス道路を整備し、アクセスをスムーズにする。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・合併特例期間において、充当率の高い合併特例債を活用して計画通りに効率よく事業実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通網として、道路網を整備することは市民生活の利便性の向上が図れる。 ・またアクセス性の向上が図れることから有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>本事業は、広域交通網促進として、国道9号及び駅南地域など市街地周辺において頻繁に発生している交通混雑を解消し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、バイパス道路を整備し市街地周辺とのアクセスをスムーズにする。また住民交流や観光施設への利用の活性化を図り、さらには、緊急避難路として位置付け、安全で円滑な交通体系の充実を図ることを目的としている。</p> <p>西町市寺線については、平成30年度予算をもって完了した。福知山停車場奥榎原線については、令和元年度での完了を目指して事業を進めている。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>西町市寺線は、平成30年度予算をもって完了した。福知山停車場奥榎原線についても早期の全線開通を目指して事業を継続していく。しかし、公図と現況が合致していないところもあり用地買収などに時間を要しているが、用地買収が整ったところから工事を進めるなど、全体工程を圧縮する方向で事業を進めていく。</p>			

	所見
二次評価 （庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価 （外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ○合併特例債を充当しているため、活用期間内の完了に努めたい。 ○財源の確保を図りながら、継続して適正に実施する。 【H30棚卸による見直し状況】 事業継続中であり、完了後の交通量調査及び効果検証に向けて、方法等について検討中である。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課						
	作成責任者	中村 直樹						
	事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路整備)						
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 道路新設改良費	会計 一般会計	事業コード 120336	決算付属資料 192	頁
	施策体系	施策コード 030303	施策名 道路のネットワークを充実させる					
	開始年度	昭和63年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	社会資本総合整備計画						
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的(あるべき姿)						
	対象者	市民・沿線住民・市内市道	対象者数	78,166	単位あたりコスト	4.9	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者等					
	事業概要	府が設定する社会資本整備計画である「丹後・中丹地域の観光と産業の振興を支援する交通基盤施設の整備と安心安全なまちづくり」に関連した整備により、道路新設、舗装改良、自然災害防止工事などを行なう。 由良川水系河川整備計画に伴い、府道福知山綾部線と府道舞鶴綾部福知山線に接続している川北荒木線の川北橋を整備するほか、道路改築、舗装修繕、歩道整備などの工事を実施する。 平成29年度より、猪崎川北線緊急避難道整備事業を事業統合している。					
	主な経費と具体的内容(N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		道路新設改良工事(29線30)	堺線、土19号線、川北荒木線(川北橋)			248,218	
その他(29線30)		測量・設計業務など18,031、用地買収(用地課)778、物件移転補償18,952(当課18261、用地課691)			37,761		
委託料		測量・設計業務			1,995		
橋りょう工事		川北荒木線(川北橋)			67,567		
物件移転補償	堺線			3,994			
関連事業	H29年度から猪崎川北線緊急避難道整備事業を統合						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	80,000	140,000	336,317	422,000	331,000
		②補正予算			163,000		
		③流充用額	29,035	240,267	0		
		④繰越額計	△ 21,498	△ 278,204	△ 126,059	425,761	0
	前年度繰越			21,498	299,702	425,761	
		次年度繰越		△ 299,702	△ 425,761		
	財源内訳(①④⑥内訳)	一般財源	8,727	8,294	△ 11,077	34,013	15,200
		国支出金	45,410	53,169	147,135	436,448	180,100
		府支出金	0	0	0		0
		地方債	33,400	40,600	237,200	377,300	135,700
		その他特財	0	0	0		0
	主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称 社会資本整備総合交付金	種類 国支出金	実績金額 39,358	決算付属資料 18	頁	
		特財名称 社会資本整備総合交付金(29線30)	種類 国支出金	実績金額 95,376	決算付属資料 18	頁	
	人件費	1.39/0	1.48 / 0	1.23 / 0	1.23 / 0		
⑤概算人件費	11,120	11,840	9,840	9,840			
⑥総事業費(①+②+③+④+⑤)	98,657	113,903	383,098	857,601			
⑦執行額	87,450	101,663	359,535				
執行率(⑦/(①+②+③+④)×100)	99.9%	99.6%	96.3%	0.0%			

業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実施路線	路線	7/7	7/7	5/5	/ 6	6
				/	/	/	/	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実施路線	路線	7/7	7/7	5/5	/ 6	6
		単位あたりコスト		12,492.9	14,523.3	71,907.0		
			/	/	/			

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・社会資本整備総合交付金事業として、安心・安全なまちづくりに関連した道路整備を行うことで、利用者、沿線住民の安全確保、利便性の向上を図る。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・国の交付金である社会資本整備総合交付金を活用することで、計画的に事業実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・道路を整備することにより、市民生活の安全性の向上を図るとともに、生活環境の整備が行なわれる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	道路は市民生活や経済活動の基盤となる重要な社会資本であることから、国の交付金を活用して事業実施することで、観光及び産業の振興を図り、利用者、沿線住民の安全を確保するとともに利便性の向上を図っている。計画的に道路整備を進めていくことで、幹線道路などにおいて、新設改良、舗装改良、自然災害防止工事などを実施している。		
今後の課題及び方向性	通学路等の交通安全対策の推進や、道路構造物の老朽化対策、防災・減災対策と安心・安全な道路整備の推進に対する交付金制度を活用するなかで、安心安全な道路網の整備や道路状況を保持していくためには、本事業として効果は大きく、今後についても継続していく。ただし、国からの交付金については、全国的に要望が多いことから、本市の要望どおりに国の予算確保ができないことが課題である。			

	所見
庁内及び外部による評価（行革担当課記入）	
三次評価（外部評価）（行革担当課記入）	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>○国へ提出している5箇年計画と整合を取り、補助金の確保を図りつつ、継続して適性を実施する。</p> <p>○川北橋延伸工事の進捗を図り、由良川築堤工事の完成時期を見据えて実施していく。</p> <p>【H29棚卸による見直し状況】</p> <p>継続路線を実施中であり、新規路線採択には至っていない。採択に向け、引き続き検討を要する。</p>
	予算への反映【財政担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】